

# ごみと戦う人々

さっぽろ  
ごみ  
奮闘記

毎日、市内の至る所で生じ続けるごみ。地域やごみの現場には、わたしたちが捨てたごみと、日々向き合い、奮闘する人々があります。このシリーズでは、そんな「ごみと戦う人々」にインタビューし、その活動や思いに迫っていきます。

[詳細] 環境事業部業務課 ☎211-2916



## 現場の様子

豊平区のとあるごみステーション。この日は「枝・葉・草」の収集日だったが、ペットボトルや生ごみなどが大量に出されていた。一つ一つ丹念にチェックし、違反ごみをパトロール車に積み込んでいく。

## Vol. 2

豊平清掃事務所  
ごみパト隊  
おばた まみ  
小幡 万美さん

毎日地域のごみステーションをパトロールし、不適正なごみ出しを行っている方に対し指導を行う「ごみパト隊」。最前線でごみと向き合い、住民とともに地域のごみ問題解決に取り組んでいます。



## 住民とともに考え行動する ごみ問題解決の最前線

—パトロールをしていて、違反ごみを見掛けることは多いですか？

徐々に減ってはいるものの、まだ違反ごみを多く見掛けるのも事実です。中には、透明な袋に生ごみからペットボトルまでまったく分別されずに入れられているものも目にします。

—そうした違反ごみを見つけた場合、どうしているのですか？

清掃事務所に持ち帰り、袋の中身を確認します。はがきなどで個人の連絡先を特定できれば、直接面会し、正しく出すようお願いしています。ほとんどの場合、理解を示してくださり、次回から正しく出してくれますね。

—町内会と一緒にごみステーションの美化に取り組んだと聞きました。はい。豊平区内の町内会の方から、「大型ごみなどの不法投棄が多く、周辺住民以外の人もごみを出していくごみステーションがある」と相談を受けました。そこで、町内会の皆さんと一緒に違反排出の多かった近隣の共同住宅に

働きかけ、新たに専用のごみステーションを設置してもらいました。これによりごみが分離され、4カ月後には問題のごみステーションを廃止することができ、今では見違えるほどきれいですよ。

—地域の方の反応はどうでしたか？大変喜んでくださり、とても励みになりました。ごみパト隊になって、一つ一つのごみステーションにドラマがあること、ごみの収集は地域の皆さんの支えがあって成り立っていることを実感しています。これからも地域の皆さんと一緒に、違反ごみのないきれいなまちを目指して頑張っていきたいです。



小幡さんらごみパト隊が製作した間違いやすい分別をまとめたチラシ。指導の際などに配布され、分かりやすいと好評だ

### ☑ CHECK!



### ● ごみの分別クイズ ●

- Q1 プラスチック製の植木鉢は燃やせるごみか、燃やせないごみか？
- Q2 ペット用のトイレ砂は何のごみの日に出す？
- Q3 生ごみと製品プラスチックは一つの袋に入れて燃やせるごみに出してよいか？

【答え】1:燃やせるごみ 2:燃やせるごみの日 3:出してよい

### 市のごみ排出量の現状

— 目標400g以下 —  
一人1日当たりの平均排出量  
**388g**

数字はごみ排出ルールが変更になった昨年7月～6月の廃棄ごみの平均です。